地域鉄道に対する支援策（24年度補正予算案及び25年度予算案）

別添1

1. 地域鉄道の老朽化対策、安全設備の更新に対する支援

（1）鉄道の老朽化対策

＜鉄道施設の緊急老朽化対策＞

○ トンネル・橋梁等の老朽化に関する詳細評価や対策方法の検討に要する費用を補助

○ 老朽化対策が既に判明している施設のうち、緊急的に対応が必要な更新等に要する費用を補助

→ 以上について、事業者の資金力に応じ、補助率を現行の１／３から2／5に引き上げ〔拡充〕

○ 戦略的な施設の維持管理を行うことが可能となるよう、点検状況のデータベース化を国が実施

【24年度補正予算案：国費4,499百万円】

＜老朽化対策のための改良・補修事業＞

○ トンネル・橋梁等大規模な施設の老朽化対策のための改良・補修工事を支援

【25年度予算案：国費83百万円】

（2）地域鉄道事業者の安全設備整備等に対する支援

○ 安全性の向上に資する設備整備等（車両の更新、ATS等）を支援

○ 地元自治体の支援により、鉄道事業再構築事業を実施する事業者について、補助率を現行の１／３から１／２に引き上げ※〔拡充〕　※財政状況の厳しい地方公共団体が支援する費用相当分

【25年度予算案：国費33,278百万円の内数】

○ また、整備した設備については、固定資産税を減免する特例措置〔延長〕

2. 地域鉄道の利便性向上に対する支援

（1）新幹線開業やまちづくりに合わせた新駅の開業への支援

○ 北陸新幹線の新規開業等に合わせた地域の鉄道の新幹線乗継駅の新設等を支援

（平成25年度に行われる主な事業）

・富山地方鉄道本線　新駅設置（北陸新幹線新黒部駅（仮称）との結節点）

・JR西日本城端線　新駅設置（北陸新幹線新高岡駅（仮称）との結節点）

・高松琴平電鉄琴平線　新駅設置（香川県綾川町のまちづくりと連携）

【25年度予算案：国費1,539百万円の内数】

（2）LRT導入等への支援

○ 公共交通のバリアフリー化や利便増進に資する低床式車両やICカードの導入を支援

【25年度予算案：国費33,278百万円の内数】

○ また、低床式車両については、固定資産税を減免する特例措置〔延長〕

3. 並行在来線に対する貨物調整金による支援

※貨物調整金に係る既存財源による措置

○ 並行在来線開業が相次ぐことを見据え、これまで措置されてこなかった、開業準備のための要員養成費や開業初年度分の固定資産税のうち貨物相当分について支援

（総務省との連携）

4. 地域鉄道支援に対する地方財政措置の創設

○ 地域鉄道事業者による施設・設備への投資に対して地方公共団体が行う補助について、**地方財政措置が新たに導入**される予定。（総務省）